

News Letter

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184 <https://www.kokudo.or.jp>Japan Geographic Data Center
公益財団法人
国土地理協会

沖縄島北部の難読地名



今号では、わが国5番目の世界自然遺産として登録された「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」のエリアにある市町村のうち、難読な地名が多い沖縄県の、沖縄本島北部3村、くに がみ そん 国頭村、おお ぎ み そん 大宜味村、ひがしそん 東村にある難読地名をご紹介します。

沖縄県の地名は、琉球王朝時代ひらがな表記だったものに、あとから漢字をあてて現在の表記になっています。その際、意味を無視して読みだけで漢字をあてることが多く、またその後に読み方の変化もあって、沖縄ならではの独特な地名となりました。

くに がみ そん
国頭村

鏡地 かがんじ

村の南西部にある字です。西は東シナ海、南は比地川を境に半地に接します。隣接する奥間の海岸の米軍施設跡地には「ヴィラ・オクマ プライベートビーチ&リゾート」があり、海浜リゾートとして観光客でにぎわっています。鏡地の名の由来は、海原を眺めると鏡のようだからとも伝えられています。

謝敷 じゃしき

村の中央部にある字です。北西は東シナ海が広がります。海岸沿いを国道58号が走り、沿線に集落があります。国道下の海岸線には、サンゴ礁が板状に発達した謝敷板干瀬が続きます。「国頭村史」によると「ジャ」のつく地名は海に関連するもののようです。

楚洲 そす

村の北東部にある字です。東海岸の北側にあり、山林が海岸線に迫っています。域内を流れる伊江川、楚洲川の河口付近に集落があります。集落の南側には、楚洲小中学校跡地を利用した高齢者福祉施設と宿泊施設の複合型施設「楚洲あさひの丘」があります。

辺野喜 べのき

村の中央部にある字です。西は東シナ海に面しています。集落は海岸から250mほどさかのぼった辺野喜川下流域にあります。字域の中央部に辺野喜ダムがあり、沖縄本島中・南部に生活用水を供給しています。集落付近の丘陵地にはイジュの木（沖縄の固有種/建築材として使われる）が多く自生し、毎年4月頃には純白の花を咲かせます。

ちなみに、くに がみ そん 国頭村も難読地名かもしれません。国頭村は沖縄本島の最北端にあり、島の頭部にあたるので国頭(国上)と呼ぶようになったと言われています。

喜如嘉 きじょか

村の北部にある字です。東南は東村に接し、北西は東シナ海に面します。集落は、海岸を通る国道58号沿いからその南の丘陵の麓にあります。海岸には長さ約1Kmにわたり、県天然記念物に指定されている板干瀬^{いた び し}が発達しています。字域の大部分が山地で、芭蕉布^{ばしょうふ}（バナナ（実芭蕉）の仲間である糸芭蕉の繊維を織ったもの）の産地としても知られています。大保川上流に、古くからの拝所^{うかんじゅ}である喜如嘉七滝があります。流れ落ちるまでに水の軌道が7回変わることが七滝という名の由来だそうです。

謝名城 じゃなぐすく

村の北部にある字です。東南は東村に接し、北西は東シナ海に面します。大部分が国頭山地^{くにがみ}とそれに続く丘陵地^{くしき}からなります。丘陵間を流れる外堀田川^{ほかほり たがわ}沿いに集落があります。明治36年の合併以前は城、根謝銘^{ね じゃ め てん なす}、一名代という3つの村で、これらのそれぞれ1字ずつをとって謝名城となったそうです。

饒波 めうは

村の中央部にある字です。国頭山地西側に位置し、北西は東シナ海が広がっています。集落は饒波川河口の1Km上流にあり、三方を山に囲まれた山すそにあるため日照時間は短めです。饒波という地名は大宜味村の他に、沖縄本島南部の那覇市に隣接する豊見城市^{とみぐすくし}にもありますが、読みが「ノハ」と異なっています。

根路銘 ねろめ

村の中央部にある字です。北西は東シナ海に面し、南東は東村に接します。集落は海岸のわずかな平坦地にあります。旧暦7月にはウンジャミ（海神祭）が行われ、集落内だけでなく多くの人々でにぎわいます。字域中央部には石山展望台があり、天気がいい日には壮大なやんばるの大自然が一望できます。

有銘 あるめ

村の南西部にある字です。南は名護市^{なごし}、北西は大宜味村と接し、東は有銘湾に面します。有銘湾を臨む有銘小学校の裏山一帯は神の森といわれ、木一本切ることが許されない聖なる山となっていて、その森の鬱蒼とした林の中に白い樹肌をした「オガタマノキ」（招霊木とも書くモクレン科の常緑樹。古来から神聖視され、神社仏閣の御神木とされることが多い）があり、地域の人たちによって大事に守られています。

慶佐次 げさし

村の南西部にある字です。北は大宜味村に接し、南は有銘湾に面します。集落は慶佐次川河口沿いにあります。慶佐次川河口汽水域の塩性湿地には沖縄本島最大のマングローブ群落があり、慶佐次湾のヒルギ林として国指定の天然記念物となっています。ヒルギ林を望む慶佐次湾岸には、マングローブの自然を手軽に楽しめる「東村ふれあいヒルギ公園」があり、カヌーツアー体験（有料）や遊歩道散策ができます。

- (1) 試験日 : 2022 (令和4) 年 11月13日 (日) 予定
- (2) 試験時間/問題数
地図地理検定 (基礎) : 13:30~14:20・全問択一式、100点満点
地図地理検定 (専門) : 15:00~16:00・択一式15問、記述式9問、100点満点
- (3) 実施都市 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
- (4) 受検資格 どなたでも受検できます。年齢等、一切の制限はございません。

前回の問題は
ココでチェック!

地図地理検定

検索

受検料

基本受検のほかにリピーター割引、学生割引、シニア割引があります。5名以上なら団体受検もできます。

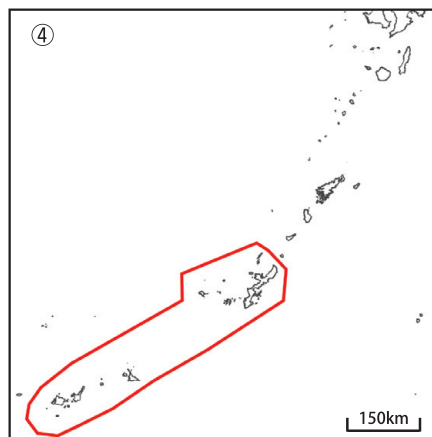
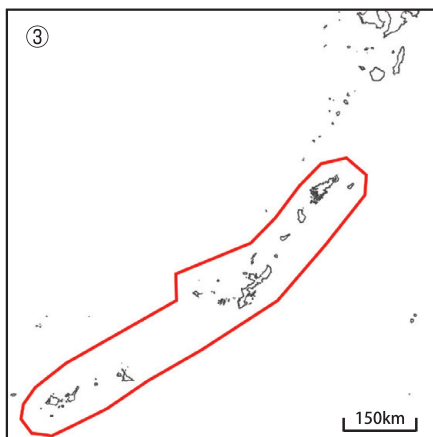
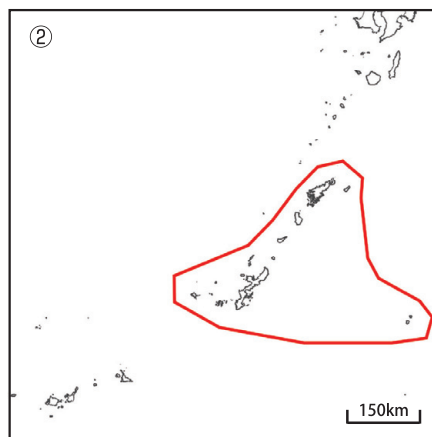
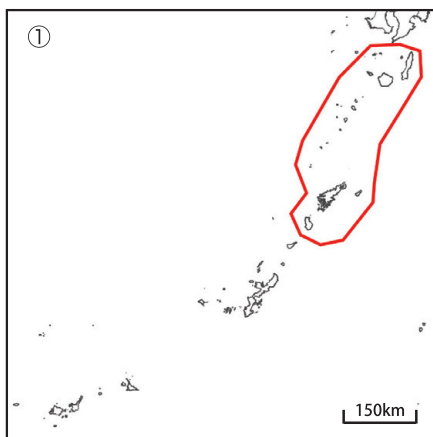
	地図地理検定 (基礎)	地図地理検定 (専門)	基礎・専門の併願
基本受検料	3,000円	4,000円	5,000円
各種割引	2,000円	3,000円	4,000円

詳しくは地図地理検定ホームページ (<https://www.jmc.or.jp/keihatsu-kyouiku/chizuken/>) をご覧ください。

地図地理クイズ!

(第36回地図地理検定より出題)

問 2021年7月に、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産として登録され、現在の日本の世界遺産は25件となっています。この世界遺産は、4つの島の生物多様性が評価され、世界でも貴重な希少種・固有種の保全に重要な地域であるとされています。世界遺産の表題の4島を含むように囲んでいる地図を、下の①~④のうちから1つ選びなさい。



「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島世界遺産候補地」

<http://kyushu.env.go.jp/okinawa/amami-okinawa/description/index.html> より作成

【正解】③ 【解説】世界遺産に登録された島は、奄美大島、徳之島、沖縄島、西表島の4つの島です。那覇市が位置する沖縄島が範囲に含まれていない①と、奄美大島が範囲に含まれていない④は誤りです。②の東端にある島は北大東島と南大東島で、この2つの島はそれぞれに空港と港をもち、沖縄島と結ばれているほか、サトウキビ畑がひろがり南大東島には製糖工場が立地しています。

日本列島 ジオパーク 巡り

今回は、静岡県の一部に位置する伊豆半島ジオパーク、その中でも伊東エリアにある城ヶ崎海岸のジオサイトを紹介します。

伊豆半島ジオパークはユネスコ世界ジオパークにも認定されている、日本でも珍しい成り立ちの地域です。3つのプレート（ユーラシアプレート、オホーツクプレート、フィリピン海プレート）がひしめき合う本州で、唯一、フィリピン海プレートの上に位置する伊豆半島は、約2000万年前には、数百kmも南の海底火山群でした。フィリピン海プレートの上にできた火山島は、プレートとともに北に移動していきます。やがて本州に衝突し、現在のような半島の形になりました。それが約60万年前のことで、その後もプレートによる地殻変動、火山活動が続いています。「南から来た火山の贈りもの」をテーマとする伊豆半島ジオパークは見どころも多く、今回は城ヶ崎海岸に絞ってご紹介します。



対馬の滝

城ヶ崎海岸は、約4000年前に噴火した大室山の溶岩が相模灘に流れ込み、海を埋め立てて新しい陸地を作り出した時の先端部分にあたります。海岸沿いにウォーキングコースが整備されており、伊豆高原駅を出発地点とした場合、対馬川沿いに30分ほど東へ歩くと海岸線に出るので、そこから海岸沿いに自然研究路を歩くことができます。対馬川が海へ注ぐ地点にある「対馬の滝」は、伊豆半島では珍しい、海岸から直接海に注ぐ落差15mの滝です。水量が少ないと見ることができないこともあるので「幻の滝」とも呼ばれています。



大淀・小淀

対馬の滝から少し西へ行くと橋立つり橋があり、「大淀・小淀」と呼ばれる潮だまりに下りることができます。周辺には「柱状節理」が見られます。柱状節理とは、溶岩が冷える際に体積が縮むことでできた規則正しい亀甲文様の割れ目のことで、無数の柱を束ねたように見えるのが特徴です。



いがいが根

自然探索路を北上すると面白い名前の景勝地があります。「いがいが根」と言うのですが、どんなところを想像しますか。いがいが根は遠くから見れば平坦で歩きやすそうに見えますが、実際は名前の通り、イガイガしたトゲのような岩がたくさん集まったところ。溶岩の表面が冷え固まってできた「殻」が、流れてくる溶岩に押されてバラバラに砕かれたため、尖った岩がたくさんできたとされています。

ニュースレター等に関するお問い合わせは

公益財団法人 国土地理協会 〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3番1号

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184

URL <https://www.kokudo.or.jp>